特別支援教室だより

令 和7年3月3日第10号
特別支援教室拠点校
府中市立府中第六中学校
校 長　　佐 藤 光 宏

特別支援教室へご理解、ご協力に感謝申し上げます

この一年間、お子様はそれぞれの課題と向き合い、自己の良さを見つめながら過ごすことができました。
改めてお子様の様子を振り返ると、自己理解を深め自分らしく学校生活を送ることができるよう、他者の価値観や考え方を知り、自らの視野を広げるなど一人ひとりの良さが見られました。
特別支援教室では、今後も自分自身を見つめ直し、自らのよさを表現する力を身に付け在籍校で充実した生活が送れるよう支援をしていきます。引き続き、保護者の方々との連携を大切にしてまいります。
今後ともご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

保護者面談・三者面談を実施いたします

先日スマート連絡帳と書面にて「保護者面談日程決定通知」をお送りいたしました。何かございましたら、特別支援教室の直通電話にご連絡ください。

小集団学習の様子

私は誰？

「私は誰？」という学習を行い、状況に応じたコミュニケーションを学びました。
そこでは自分の背中に貼られたカードには何が書かれているか当てるために質問をしていきます。
はじめは誰に、どのような質問をすれば良いかわからず、戸惑う生徒もいましたが、質問内容やタイミングをアドバイスしてもらったことで見事正解を導き出すことができました。

HELP!

日常で起こりうる困り事についてどのように「HELP!（助けて!）」を伝えるか、実際に演じながら練習しました。
どのグループも相手の状況や困りごとの内容に応じてお願いをする内容やタイミングを工夫することができました。
お願いを断られてしまったときに粘り強くお願いし続ける生徒もいれば、すぐに気持ちを切り替え他の人にお願いし直す生徒もいて、それぞれに合った方法で「HELP!」を伝えられました。

はぁっていうゲーム

「無表情で『はい』と言う場合と、笑顔で『はい』と言う場合とでは、その人の感情は同じですか、それとも違いますか?――――」
同じ言葉でも声のトーンや表情で意味が異なってくることを理解し、相手に伝わる表現方法を身に付けるためにこの学習に取り組みました。
「はぁ」「なんで」「え」などの短い言葉で伝えたいことを伝えるためには、どのような言い方や表情がいいか、他の人の演技を参考にそれぞれ考え表現していました。

<今後の主な予定>

3月 10 日（月）　3学期学習終了
3月 11 日（火）～17日（月）　保護者・三者面談
〔令和 7 年度〕
4月　保護者会・1年生保護者面談
※詳細は4月に案内を配付いたします。

生徒数（令和７年３月３日現在）
府中第二中学校……24名
府中第六中学校……18名
府中第九中学校……17名　（合計59名）

【問い合わせ】府中第六中学校　特別支援教室
直通電話　042-336-6556